

厚生労働科学研究費補助金  
医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業  
地域における包括的な輸血管理体制構築に関する研究

平成 29 年度分担研究報告書  
研究分担者 高梨一夫

A．研究目的

地域における包括的な輸血管理体制の構築を目指し、本分担研究において血液製剤の運搬・管理体制の現状について、問題を明確にし、新たな運搬・管理体制の構築の必要性を検証することを目的とし、平成 29 年度は実地見学を行った。

B．研究方法（実地見学）

血液センターから遠方にある医療機関への血液製剤の運搬及び同医療機関における血液製剤の管理体制の現状を実地に見学する。

（1）島嶼部

島嶼部に立地している医療機関である A 病院及び同病院へ血液製剤を供給する B 赤十字血液センター（以下「Bセンター」という。）

（2）内陸部

地理的要因及び周辺の交通事情等により血液センターからの血液製剤供給に時間を要する C 病院及び同病院へ血液製剤を供給する D 赤十字血液センター（以下「Dセンター」という。）

C．研究結果

（1）島嶼部

ア 医療機関の周辺環境

交通状況

A 病院は、B センターからの血液製剤供給に時間を要する島嶼部に立地しており、血液製剤の配送手段は、天候等により運行が左右される空路に限定されている。

輸血

島内で輸血可能な医療機関は、3 病院で A 病院は輸血が可能な 3 病院のうちの 1 つである。また、医療機関が行政機関に連絡した後、自衛隊の協力を得られる

体制が整備されており、過去に数度の実績が残されている。

#### イ 血液製剤管理状況

##### 保管・保守点検

検査室内の血液保管庫を検査室職員の勤務時間内において、1日3回温度点検を実施している。(Fig.1)

Fig.1



##### 異常時対応

血液保管庫の異常警報については、機器本体の警報以外に警備室など、A病院職員が24時間常駐する部署においても発報し、認知した警報は検査室のオンコール職員へ伝達される。

##### ウ その他

A病院においては、天候等により自衛隊の協力が得られない場合に備えて、院内採血マニュアルを整備している。

#### (2) 内陸部

## ア 医療機関の周辺環境

### 交通状況

C病院は、Dセンターからの血液製剤供給に時間を要する内陸部に立地しており、配送経路の多くを国道又は自動車専用道路に依存し、冬季には雪害による供給遅延が想定される。

### 輸血

C病院が立地する周辺地域には、主要な医療機関がC病院の他に4施設存在する。

## イ 血液製剤管理状況

### 保管・保守点検

検査室内の血液保管庫を検査室職員が1日1回温度点検を実施している。

(Fig.2)

Fig.2



### 異常時対応

血液保管庫の異常警報については機器本体の警報のみである。

## ウ 輸血管理体制

C病院を含む周辺地域の主要な医療機関は検査室が設置されている。

## D. 考察

地域における医療体制及び高速道路網の変化等に伴い、現状の血液製剤の運搬・管理体制を整理する必要があるとあり、今後は、詳細な実態を把握し、新たな運搬・管理体制を構築する必要があると考える。

